

ダンスをSTARTしよう

文化新聞

6月号21

【発行・編集】

委員長 本道睦穂

副委員長 梨本あかり



すみれ祭の最後は全校ダンス

すみれ祭の最後を飾るのは、全校で盛り上がる全校ダンスだ。今年は全身で踊るダンスを覚え、すみれ祭ラストのステージで踊った。本格的でありながら、覚えやすいダンスであったため、全校で盛り上がった。さらに、前のクラス発表で時間が余ったため三回踊ることができた。三年生は、最高学年として涙を流しながらすみれ祭の余韻に浸る人もいて、感動的な終わりになった。



閉祭式

閉祭式では、表彰式から始まり、クラス企画、ファッションショー、後夜祭三つで表彰が行われた。その後、生徒会長のあいさつ、文化祭実行委員会四役のあいさつでは、全校に感動を届け、校長先生のあいさつでは、校長先生の歌を聞き、第四十二回すみれ祭が静かに終了した。



クラスでつくりあげた

クラス発表

今年のすみれ祭も、おもしろいクラス発表が発表された。各クラスで行われるダンスや、寸劇、オリジナル動画を、会場全体で楽しんだ。青春感満載のラフストーリーや、小さいころにきいていたなつかしい曲に合わせたダンス、とっても怖い動画など、個性が全面的に表れた。審査員の先生方に選ばれたクラス発表は、閉祭式での表彰式で表彰された。



編集後記

すみれ祭期間を通して、学校で、クラスで、部活で、きずなが深まり、思い出に残る時間が過ぎました。これからは、一週間後のテストに向けて、「日常」が戻ってくるでしょう。文化新聞は言ってしまう必要なくても困らないものかもしれない。でも、誰かの心に寄り添えたら。文化新聞を読んだ人に小さな発見があったら。この新聞に実用性以上の価値が生まれるのではないだろうか。これからも、生徒の皆さんの生活の中に溶け込み、「なくてもいいけどあったらちょっといいな」と思ってもらえるような新聞を発行し、全校生徒と繋がっていきたいです。